

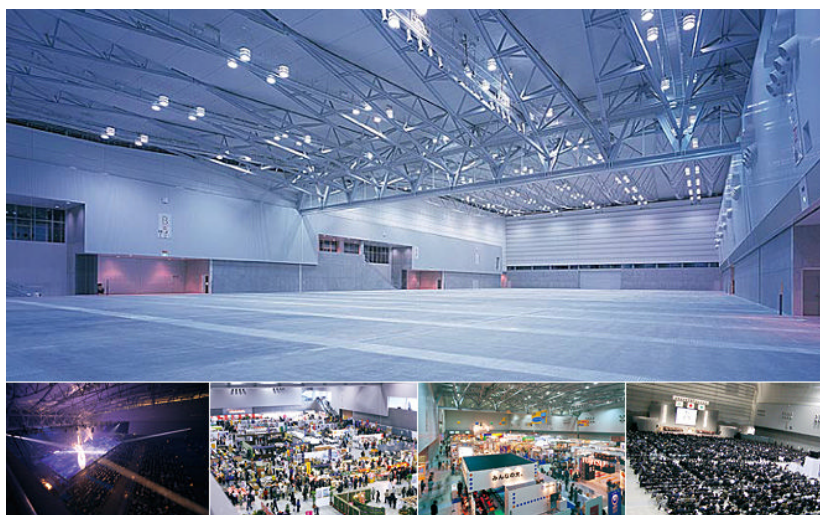
3 競馬場跡地に導入すべき機能

これらのことから、競馬場跡地に導入すべき機能は、複合一体型コンベンション施設が最適である。また複合一体型コンベンション施設の建設には、駐車場を含め広大な用地が必要であることを考慮すると、競馬場跡地以外に適地はないと考えられる。

(1) 主たる機能

複合一体型のコンベンション施設は、次のような機能を有する。

- ・さまざまなイベントにも活用できる**大規模展示施設**
- ・少なくとも6カ国語の同時通訳ブースを備えた群馬県を代表する**国際会議場**
- ・千人規模のレセプションや式典が開催可能な**メインホール**
- ・分科会や小委員会が柔軟に開催できる数を有する**中・小会議室**
- ・車社会である群馬県での開催に支障を来さない規模を有する**駐車場**



大規模展示施設イメージ（写真出典：朱鷺メッセ）



国際会議場イメージ（写真出典：朱鷺メッセ）



朱鷺メッセ
(新潟コンベンションセンター)



くびきメッセ
(島根県立産業交流会館)

(2) その他の機能

・災害時に避難場所として利用可能な緑地

東日本大震災を踏まえ、災害時の防災拠点や避難場所としての機能が考慮される必要があり、災害時の避難場所や日常の散策等に活用されるなど、地域社会での公共的役割も果たしていくための機能なども組み合わせていく。

・場外馬券発売所

平成16年度の高崎競馬場廃止以降、活用策が決まるまでの暫定的な利用として、旧競馬場跡地の市有地と民有地を借り受け、県有地と既存建物を併せて、日本中央競馬会（JRA）と地方競馬の勝馬投票券を発売する株式会社日本レーシングサービス（NRS）に貸付け、場外馬券発売所として利用が図られている。

この場外馬券発売所については、その存在が広く定着しており、中央競馬および地方競馬のファンも数多く来場していることと、施設の運営上も採算性の向上が見込めることから併設を検討する。

(3) 効果

コンベンションの開催が地域に与える影響・効果は大きく、社会・経済の幅広い分野に及ぶ。コンベンションの開催に伴う直接的な支出にとどまらず、参加者が支出する宿泊費や飲食費など広範な経済効果がもたらされる。(平成22年度に実施した「高崎競馬場跡地への機能導入可能性調査」によれば、約5,600㎡の展示施設を想定した場合、約75億円の直接効果と、約40億円の間接効果があると推計された。)

競馬場跡地の交通拠点性は、社会条件・経済条件・立地条件等の類似性のある他県と比較すると、コンベンションの潜在的可能性があり、コンベンション施設の新設により、国内はもとより国際的な交流人口が拡大し、イメージアップや都市間競争力の向上をもたらし、本県経済を大きく発展させることが期待できる。